

無病息災  
除災招福

# 夏越祭

(7月29日)



岡田宮夏越祭 ごあんない

—(宝永四年)一七〇七年貝原益軒書—  
岡田宮

## 第31号

平成13年7月吉日  
発行 岡田宮社務所  
北九州市八幡西区岡田町1番1号  
郵便番号 806-0033  
電話 (093) 621-1898  
FAX (093) 621-5330

おごそかに 保たざらめや  
うつぎきた来るうらやすの國。  
神代かみよより

平成十三年七月二十九日 (日) 午後六時から九時  
(雨天決行)

社頭に設けた茅の輪をくぐれば、悪疫を免れ幸福と繁栄  
を招来するという古式に則った夏越祭を厳修いたします。

大祓神事 午後六時より

どなたでも参加できます。参列の方には  
大祓詞をさしあげます。  
ふるつてご参加ください。

当日ご参拝の方に

■「お札」と「茅」を授与いたします。

魔除けとして玄関に奉斎して下さい。

■無病息災・除災招福御神酒接待

ご参拝の方に御神酒をご奉仕いたします。

■総当たり福引き・かき氷

地元青年会の屋台がたちます。  
いづれも一回100円

■アニメ上映 (アンパンマン)  
(ピカチュウ等)



当日この券をご持参ください  
福引き・かき氷のいづれか  
1回が無料になります。

明治天皇御製



# 神社総代研修会

三月十四日 晴

片田一夫総代会副会長以下四十名を乗せたバスは二時間半かけて、佐賀県伊万里市南波多町鎮座の白山神社に到着しました。

白山神社は石川県石川郡鎮座の白山比咩神社の分社で長久二年(○四一)に創建されました。

氏神様として続いてきたそうです。以来一〇〇〇年間、南波多町の

正式参拝終了後、社務所に移動して、新久田宮司様より、講話を

三〇分ほど、していただきました。氏子数は三〇〇世帯と少ないが、みなさま神社へは熱心にお参りにこられ、宮司様を中心に氏神さまである白山神社をお護りしている

そうです。

特に秋まつりは盛大で、よそに住んでいる家族や親戚も、こそつて参加するそうです。

伊万里市の厚生年金会館で昼食後、伊万里焼会館を見学。

今日も多くの神社関係の研修をしてまいりました。

たので、今後の神社運営に反映していきたいと思います。

# 郷土地名考

31

## 七条 (しちじょう)

西鉄電停に七条、三条がある。

軌道に平行する板櫃川の北側、製鉄社宅の道路筋を数えると、ちゃんと三から七になる。ひょつとするとこれは、大化の革新で行われた条里制の跡だと早とちりする人も現われる。ところが条里制は方六町、三十六区画、現在地形でも無理。

種を明かせば明治40年、八幡製鐵がこのあたりを接收して官舎を作ったとき、幹部のわけ知りバ力が京都になぞらえ、町名に条をつけた。官舎の道路も一条通りから七条通りにした。だから、筋道を数えれば三条から七条まで順序は合う。だから条理制の跡ではといふ無用な憶測を導いたりするのである。

思いつきの地名命名が後年に勘違いをつくり出す見本である。青山なんても、東京の高級住宅地に似せて各地で命名しているが、もとは墓地の名にすぎない。人間(じんかん)到るところ青山あり、どうでもいいことだが。

## 東鉄町 (ひがしてつまち)

鉄は鉄でも八幡製鐵にちなむものではなく、九州鉄道の鉄である。

一八九一年(明治24)小倉一大蔵—尾倉—黒崎間に初めて九州鉄道株式会社の路線が開通した。明治三年に戸畠回りの現鹿児島本線が開通すると大蔵線は支線となるが、客足が途絶えて同四年には廃線となつた。

この線路沿いにできた新開地のうち、大蔵川から西を鉄町、東側を東鉄町と呼んでいた。廃止された大蔵線は現在の西鉄大蔵電停の南側を走っていたもので、櫻田川や大蔵川には当時の煉瓦積み鉄橋の跡などが残つていて、櫻田川橋梁は北九州市指定文化財。

開通した明治の汽車は上等、中等、下等の区分。人民は「空席があれば乗車指し許す」てなもんであつた。門司から博多まで下等で六八銭、現在一二六〇円。当時の米価は一〇キロ換算で約四七銭、現在標準価格米一〇キロが三五六〇円である。鉄道運賃は約一八〇〇倍、米価は七五〇〇倍になつていて。

# 神社なぜ問答

(その31)

## Q 御奉納(初穂料)はご祈願してもらつた代金なの?

## Q なぜ三・五・七才に祝うの?

## Q 七五三は神社でご祈願しなければいけないの?

**Q 七五三をするのはなぜ?**

「子供は神様からの授かりもの」と言われます。

この神様とは氏神様のこと。ですから子供が産まれると約一ヶ月で氏神様にお宮参りをして報告と感謝をします。そして、「七才までは神の子」と言われるよう、生まれてから幼い間は魂がまだ定着していません。神前で祝いの儀式を繰り返すことによって魂を固め名残です。

七才の祝い以降は氏子となつて社会の仲間入りと考えました。義務教育が七才から始まるのもこの名残です。

七五三はこの儀式の一つであり、我が子の成長を神に感謝すると同時に、子供が成長していく過程で、社会の一員として共同体に参加できるようにと願つてているのです。また、一方では子供に普段とは違う儀式という厳粛な場を体験させる意図もあります。

七五三でお参りにみえ、お賽銭をあげて写真だけ撮つて帰られる方がいますが、こうしたことをご存じないのかかもしれません。考えてみて下さい。神社というものは数千年の歴史の中でその土地の方々の初穂料(御奉納)により存在しているのですから。



いろいろなお祝いの時、ご馳走をしたり、金品を差し上げたり、隣近所へ内祝いの品を届けたりする風習がありますね。それは家にとつては散財ですが、ふだんお世話になつていてる方々への感謝のしりであります。祝いのお裾分けでもあります。

貧しかつた昔、ふだんの生活は質素にしているも、祝いの時は祝儀をおしまなかつたのもうなづけます。そして、感謝の対象の一一番にあげられるのが神様です。

金銭経済が今ほど発達していないかつた昔は、生産された農作物を奉納として捧げました。その名残が祝儀袋の表書きに書く「初穂料」です。したがつて、ご祈願の代金ではありません。

◎いすれにしても三才は一人歩きを始め、五才は社会の仲間入り現れないので、七才は社会の仲間入り(現在では小学校入学)という、親にとつては心配な時期を七五三といふでたい数字にのせ家族の笑顔の中で子供の成長を見守ることは昔も今も大切なことにかわりありません。

江戸時代には七五三の祝いをそれぞれ

髪置

かみおき

(三才)

袴着

はかまぎ

(五才)

帶解

おびとき

(七才)

とあります。

氏神様に詣でる意味は先述でおかれだと思いますが、ただ神社に行き賽銭箱の前で手を合わせれば良いというものではありません。

参拝には正式と略式とがあります。正式参拝とは、神殿のばす儀式です。生まれて三才頃までは髪を剃り上げていました。袴着とは五才の男子が初めて袴をはく儀式です。袴をはくことで男としての自覚が生まれます。

带解とは、女子が付け帯びを解いて大人の帯を締める儀式です。付け帯をとり、八つ口をふさいで小袖を着せ、幅広の帯を締めます。魂を内にしつかりとどめ、身をもちくすさぬようとの願いが込められたといいます。

正式参拝とは神殿に入り祓いを受けて身を清めたうえで神前に進み、神様に参拝することです。少なくとも儀式と呼ばれる重要な節目には正式な参拝が必要であり、神様に対する礼儀といえます。

## 七五三

七五三祭は、子供の成長にともない折り目、折り目に神社にお参りして、いつそうの息災成長を祈る行事です。

三歳の男女の祝いを髪置、五歳の男子の祝いを袴着、七歳の女子の祝いを帯解きなどと称しますが、これらの名称や、その年齢は地方により、時代によつて必ずしも一定しません。ともあれ、七五三は江戸時代から、広く行われた行事で岡田宮では、十一月十五日を当日とし、その前後を通じてにぎやかなお参りが行われます。

なお、平成十三年の七五三の年齢は、左記のとおりです

記

三歳	平成十一年生（かぞえ齡）
五歳	平成十年生（満年齢）
七歳	平成九年生（かぞえ齡）
	平成八年生（満年齢）
	平成七年生（かぞえ齡）
	平成六年生（満年齢）

※年齢はかぞえ年でも、  
満年齢でもかまいません。

※毎日午前九時より

午後五時まで受付をしていま  
す。



## 新年

新年よ  
わたしはお前が  
何を持ってきたのか知らぬ  
ただわたしの使命と  
わたしの力を知っている  
お前は何を出してもいい  
わたしの領分だけ取り上げて  
その他ものは見もしない  
しかしわたしの使命であるな  
らば  
どんな山にも必ずのぼる  
どんな川をも必ずわたる

いかなる鉄門も必ず開く  
いかなる難関も必ず通りぬけられ  
開かないのは  
確信が足りないからだ  
たたきようが弱いからだ  
一度たたいて開かずとも  
二度たたけ  
三度たたけ  
五度たたけ  
赤誠のこぶしでたたきにたたけ  
門のとびらは必ずひらく

## 門のとびら

楽しい雰囲気・明るいスタジオ

(株) **有川写真館**

岡田宮内にスタジオ完備  
宮参り・七五三など

撮影時、衣装無料でお貸しします。

0120-62-2080

写真館

PePe

北九州プリンスホテル ベベ2F

インドアプール前にオープン  
各種衣裳取り揃えております。

0120-620-753